

大阪府立中央図書館児童図書選定委員会編

41 選定児童図書目録



大阪府立中央図書館



こどもの
ほんだな

大阪府立中央図書館

こどもの ほんだな

2012

50周年記念号

選定児童

43

大阪府立中央図書館児童図書選定委員会編



大阪府立中央図書館

2011



は し が き

大阪市の図書館では1961年からこどもの本の推せん活動を始め、1972年(昭和47年)からは図書館司書が紹介文を書く現在の「こどものほんだな」の形になりました。

今回「こどものほんだな」の冊子を作るにあたり、50周年を記念して「こどものほんだな 50年のあゆみ」を巻末に掲載しました。「こどものほんだな」で紹介された本を掲載年ごとに1冊ずつ、掲載当時の紹介文のまま載せています。児童文学史の観点からみると不完全なリストではありますが、「こどものほんだな」の50年をしのぶよすがとしてご覧いただけたらと思います。現在も子どもたちに人気の『ひとまねこざる』から、小学校1年生の学校生活を写真とふきだしという現代的な手法で紹介した『1ねん1くみの1にち』まで、どの本も読んだ子どもたちの満足な気持ちを想像することのできる魅力に満ちています。

今後とも、すぐれたこどもの本をそれぞれの作品の全体像が正確にわかりやすく伝わるようにご紹介してまいります。

みなさまの心に触れ、子どもと共に本を読むことの喜びをお届けできる1冊が見つかりましたら幸いです。

大阪市立図書館こどもの本棚委員会

凡 例

1. この目録に収録した図書は、2010年12月から2011年11月までに選んだものです。
2. 図書は、ジャンル別に分け、対象年齢順に並べています。
段階ごとに点線で区切り、同一区分の中は、書名の50音順に配列しています。対象年齢の区分は、次の6段階です。
赤ちゃん～
幼児～
小学校低学年（小・低学年と表示）～
小学校中学年（小・中学年 〃 ）～
小学校高学年（小・高学年 〃 ）～
中学生～
3. ジャンルは、次の6項目としました。
①本の世界のはじめに（絵本）
②物語
③よみつかれてきた物語
④歴史・伝記物語
⑤詩・ずいひつ・記録
⑥知識の本
4. ☆印をつけてあるものは、絵本の形式をとっています。
◆印をつけてあるものは、行事など多人数に向けての読み聞かせに適していると判断したものです。
5. 図書に関する記載事項は、次の順になっています。
書名／著编者・画家・訳者
出版社／出版年／定価（税込み）／ページ数／本の大きさ（絵本のみ）
／対象年齢／大阪市立図書館書誌番号(OML)
※著编者・画家・訳者は、それぞれ著・絵・訳と表記を統一しています。
6. 巻末の索引は、対象年齢別に配列しています。
7. 物価事情により、図書の定価が変更されているものや、出版社の事情により、絶版になったものもありますのでご了承ください。

○ 本の世界のはじめに（絵本） ○

こちょこちょ	5
どんどこどん	5
おかあさんは、なにしてる？	5
おばあちゃんのおはぎ	6
おはなし しましろう	6
さあ、とんでごらん！	6
どろんこのおともだち	7
ねむれない ふくろう オルガ	7
はるがきた	7
パンツのはきかた	8
ベンジーのもうふ	8
ぼくもおにいちゃんに なりたいな	8
みてよ ぴかぴかランドセル	9
みんなでせんたく	9
教会ねずみとのんきなねこ	9
スティーヴィーのこいぬ	10
たかこ	10
ハスの花の精リアン	10

○ 物語 ○

赤ちゃんおばけ ベロンカ	11
おとうさんの手	11
おまじないのがみ	11
がっこうかっぱのイケノオイ	12
木いちごの王さま	12
フィーフィーのすてきな夏休み （チュウチュウ通りのゆかいななかまたち3番地）	13
もりのたいしょうは はりねずみ	14
ヴィンニとひみつの友だち（ヴィンニ！②）	14
うさぎの庭	15
おとなりさんは魔女（アーミテージ一家のお話1）	15
カメレオンのレオン —つぎつぎとへんなこと—	16
ペテフレット荘のブルック（上・下）	16
アーベルチェの冒険	16
犬どろぼう完全計画	17
おじいちゃんが、わすれても…	17

婦命寺横丁の夏	17
くろて団は名探偵	18
チビ虫マービンは天才画家！	18
チポリーノの冒険	18
土曜日はお楽しみ	19
バンビ —森の、ある一生の物語—	19
パンプキン！ —模擬原爆の夏—	19
ピッグル・ウィッグルお婆さんの農場	20
ベストフレンズ いつまでも！	20
盆まねき	20
ミンティたちの森のかくれ家	21
ウィッシュ —願いをかなえよう！—	21
羽州ものがたり	21
クロティの秘密の日記	22
最果てのサーガ 1～4	22
遠い親せき	23
バタシー城の悪者たち	23
ふぁいと！ 卓球部	23

○ よみつがれてきた物語 ○

子どもに語る イギリスの昔話	24
----------------	----

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

アラスカ無人島だより	24
ぼくらは闘牛小学生！	
—牛太郎とともに、中越地震から立ちあがった子どもたち—	24
ある子どもの詩の庭で	25
折り紙でたくさんの笑顔を —盲目の「折り紙大使」加瀬三郎物語—	25
私は海人（うみんちゅ）写真家 古谷千佳子	25

○ 知識の本 ○

いちばんでんしゃの しゃしょうさん	26
オランウータンに会いに行く	26
きのこ —ふわり胞子の舞— (ふしぎいっぱい写真絵本 18)	26
アフガニスタンの少女マジャミン	27
カモのきょうだい クリとゴマ	27
戦争を取材する	
—子どもたちは何を体験したのか— (世の中への扉)	27

こどものほんだな 50年のあゆみ	28
------------------	----

○ 本の世界のはじめに（絵本） ○

☆◆こちょこちょ

福知伸夫著・絵

福音館書店 2011 ¥735 20P 20×20cm 赤ちゃん～ 0012293803



おすまし顔のネコがいます。でもページをめくると、くすぐられ、ひっくり返って大笑いしています。カエルやニワトリも、すました姿とひっくり返った様子が描かれ、変化が楽しめる絵本です。力強い線と明るい色で表現された版面の絵は迫力があり、笑い声が聞こえてきそうです。子どもと一緒にくすぐり遊びをしたくなります。

☆◆どんどこどん

和歌山静子著・絵

福音館書店 2011 ¥840 24P 22cm 赤ちゃん～ 0012380264



芽が出て葉が伸びて、土の中でどんどこどんどこ、エンジンが大きくなりました。青々と茂る葉の力強く描かれたページを縦にめくるたびに、イモや根菜の実る様子が縦長の画面に広がります。葉の色や形、地下の様子の種類ごとの違いにも目をひかれます。リズムカルな言葉の繰り返しが心地よく、野菜の生命力が伝わってきます。

☆おかあさんは、なにしてる？

ドロシー・マリノ著・絵 こみや ゆう訳

徳間書店 2010 ¥1,365 32P 19×22cm 幼児～ 0012188537



ジョゼフが幼稚園で絵を描いている時、お母さんは台所でペンキ塗りをし、二ナが学校で花の水やりをしている時、二ナのお母さんは庭仕事をしています。休みの日には、家族でピクニックや映画を楽しみます。働くお母さんと子どもたちの日常を、黒の線画にオレンジと青で彩色をして、のびのびと表情豊かに紹介しています。

☆◆おばあちゃんのおはぎ

野村たかあき著・絵

佼成出版社 2011 ¥1,365 32P 25cm 幼児～ 0012361278

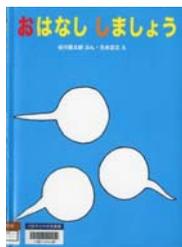


秋のお彼岸になりました。きりちゃんはおばあちゃんに、お供えのおはぎの作り方を教わります。近所の親戚におすそ分けするなど、家族で過ごすお彼岸の様子が、水彩で色づけされた温かみのある版画で描かれています。おはぎとぼたもちの呼び名の違いやお墓参りなど、日本の伝統についても知ることができる絵本です。

☆◆おはなし しましろう

谷川俊太郎著 元永定正絵

福音館書店 2011 ¥1,365 40P 30cm 幼児～ 0012366216



鮮やかな黄や赤の地色に、様々な形や色のふきだしが描かれている。「どなりあったり」「みみうちしたり」という詩人の言葉を、とがった形や小さなふきだしの集まりで描き、会話の様子を表わしている。「てきとみかたになりたくないから はなしたいことはなしてみるよ」という一文に、対話することの大切さが込められている。

☆さあ、とんでごらん！

サイモン・ジェームズ著・絵 福本友美子訳

岩崎書店 2011 ¥1,365 32P 31cm 幼児～ 0012381891



冬が近づき、小鳥のジョージも巣立つ時が来ましたが、甘えん坊の彼は飛ぼうとしません。そこに強い風が吹き、巣ごと飛ばされてしまいます。車の屋根や船の上などを転々とする巣に乗った小鳥と、彼を守る母鳥の姿にハラハラさせられます。巧みな構図と、柔らかな水彩のタッチの組み合わせで、親子の愛情を描いています。

☆どろんこのおともだち

バーバラ・マクリントック著・絵 福本友美子訳

ほるぷ出版 2010 ¥1,575 32P 29cm 幼児～ 0012174455



シャーロットのもとに、ドレスを着たフランス人形が届けられました。おてんばなシャーロットは、さっそくお人形を外に連れ出して、泥のケーキを作ったり、木登りをしたりします。遊ぶうちに人形の表情もいきいきと変化していき、楽しさが読み手に伝わります。上品で古典的な雰囲気絵が、物語を印象的なものになっています。

☆ねむれない ふくろう オルガ

ルイス・スロボドキン著・絵 三原 泉訳

偕成社 2011 ¥1,260 32P 27cm 幼児～ 0012233091



フクロウの子ども、オルガは眠れなくて困っています。長老様に尋ねに行ったり、シマリスやアオカケスの眠り方を教えてもらったりしても、やはり眠れません。素直なオルガが、ツグミに薦められた方法で眠れるようになるまでを、明るい色彩の絵で描きます。悩みを一緒に考えてくれる友だちの親切さが、読み手の心に伝わります。

☆◆はるがきた

ジーン・ジオン著 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 こみや ゆう訳

主婦の友社 2011 ¥1,365 32P 32cm 幼児～ 0012238473



春がなかなか来ないので街は灰色です。そこで皆でビルやお店の壁などに、花や鳥の絵を描きました。ところがその晩、絵を流すほどの激しい雨が降り、それがきっかけで本当に春が訪れます。黄や緑や青の色彩が増えるたび、にぎやかになっていく様子が楽しい絵本です。新しい季節を待ち望む気持ちを生き生きと描いています。

☆◆パンツのはきかた

岸田今日子著 佐野洋子絵

福音館書店 2011 ¥840 23P 22cm 幼児～ 0012218376



子ブタが一人でパンツをはきます。まずは座り込んで、片足ずついれたら、腰のゴムをひっぱりあげます。おすまし顔でがんばりますが、うまくはけるでしょうか。つたない手つきでパンツをはく姿を、やさしいタッチの絵でおおらかに描きます。リズムの良い文章を歌にした楽譜が掲載され、歌いながら読むこともできる絵本です。

☆ベンジーのもうふ

マイラ・ベリー・ブラウン著 ドロシー・マリノ絵 まさき るりこ訳

あすなろ書房 2010 ¥1,365 58P 19×22cm 幼児～ 0012168300



幼いベンジーは、赤ちゃんの時に使っていた毛布が大好きで、ボロボロになっても持ち歩いています。けれど、隣の子ネコが鳴きやまないことを知ったベンジーは、いいことを思いつきました。温かみのあるオレンジと黒の2色で、豊かな表情を描き出しています。自分が成長したことに気付いた子どもの誇らしげな様子が印象的です。

☆◆ぼくもおにいちゃんになりたいな

アストリッド・リンドグレン著 イロン・ヴィークランド絵 石井登志子訳

徳間書店 2011 ¥1,470 32P 27cm 幼児～ 0012281674



お兄ちゃんになりたいペーテルに妹ができました。最初は喜んでいたものの、両親が生まれた赤ん坊にかかりきりで、面白くありません。子どもが新しい家族を受け入れ、成長する様子を鮮やかな色彩で描きます。母親が男の子の気持ちを受けとめ、優しく抱きしめる姿が印象的です。1978年に出版されたスウェーデンの絵本の改訳。

☆みてよ ぴかぴかランドセル

あまん きみこ著 西巻茅子絵

福音館書店 2011 ¥1,260 31P 24cm 幼児～ 0012231483



赤いランドセルを買ってもらったかこちゃんは、誰かに見せたくて野原に行きます。出会った動物の子たちにランドセルを貸してあげますが、ネズミの子には大きすぎて、背負えません。そこでネズミのお母さんが、いいことを思いつきました。新しい生活に向かう幼い子どもの期待や誇らしい気持ちを、優しい色づかいで描きます。

☆◆みんなでせんたく

フレデリック・ステール著・絵 たなか みえ訳

福音館書店 2011 ¥1,260 24P 22×28cm 幼児～ 0012293300



エレナが川辺で遊んでいると、ネズミや親子のアライグマがやってきて洗濯を始めました。まねして着ていたものを洗うエレナに、動物たちがせっけんや道具を貸してくれます。干している間に、皆で一列になって体を洗う様子が楽しそうです。歌いながら洗濯する少女と動物たちのおおらかな様子が、明るい色調で描かれています。

☆教会ねずみとのんきなねこ

グレアム・オークリー著・絵 三原 泉訳

徳間書店 2011 ¥1,575 36P 21×26cm 小・低学年～ 0012335512



ネズミのアーサーは、ネコのサムソンと教会で仲良く暮らしていました。退屈したアーサーは、町に住む仲間を教会に呼び寄せますが、それを寝ぼけたサムソンが追いかけて、大騒ぎになってしまいます。のんきなネコとにぎやかなネズミたちの活躍を、細部まで描かれた絵で、ユーモアたっぷりに伝えています。1972年刊の改訳新版。

☆ステイーヴィーのこいぬ

マイラ・ベリー・ブラウン著 ドロシー・マリノ絵 まさき るりこ訳
あすなろ書房 2011 ¥1,365 58P 19×22cm 小・低学年～ 0012227505



幼いステイーヴィーはある朝、庭で子犬を見つけました。うれしくて世話をしようと思いますが、犬を飼ったことがないのでうまくいきません。日常生活のなかの特別なできごとを子どもの目線でとらえ、読み手の共感を呼びます。柔らかい線と落ち着いた色合いの絵で、動物をかわいがる子どもの様子を温かく描き出します。

☆◆たかこ

清水真裕著 青山友美絵
童心社 2011 ¥1,365 32P 27cm 小・低学年～ 0012289614



ぼくのクラスに、着物を着た髪の長い女の子、たかこが転校してきた。彼女は平安貴族のように扇で顔を隠したり、「いと はづかし」と言ったり、ぼくたちとは少し違っていた。風変わりな転校生がクラスに受け入れられる様子を、ユーモラスに描く。色鮮やかでくっきりした絵が、現実離れしたお話をいきいきと表現している。

☆◆ハスの花の精リアン

チェン・ジャンホン著・絵 平岡 敦訳
徳間書店 2011 ¥1,890 34P 29×29cm 小・低学年～ 0012281625



漁師のローおじさんがまいたハスの種は大きな花を咲かせ、中からかわいい女の子リアンが出てきました。リアンの魔法でローは豊かになりますが、欲深い王に捕まってしまう。中国出身の作者が、水墨画を思わせる筆の描線に鮮やかな色彩を加え、躍動感のある場面を描きだしています。小さな花の精が活躍する姿が痛快です。

○ 物語 ○

赤ちゃんおばけ ベロンカ

クリスティーネ・ネストリンガー著 フランツィスカ・ピアマン絵 若松宣子訳
偕成社 2011 ¥1,260 110 P 小・低学年～ 0012334757



こわがりのヨッシーは、自分をばかにする妹をおどかさうと、おばけの人形を作りました。すると、それが本物の赤ちゃんおばけになって動き出し、泣いたりわがままを言ったりと大騒ぎします。ベロンカと関わるうちに、兄妹が心を通わせるようになるまでをユーモラスに描きます。おさえた色調の挿絵が物語をひきたてています。

おとうさんの手

まはら三桃（みと）著 長谷川義史絵
講談社 2011 ¥1,155 74 P 小・低学年～ 0012301422



私のお父さんは目が見えません。でも、お父さんは給食のにおいで私を、足音でお母さんの帰りを、空気の重さで天気をというように、周りのことを感じとっています。そんなお父さんのことが大好きな少女の気持ちが、2人のやりとりで味わい深く描かれます。余白を生かした簡潔な挿絵も、物語の静かな雰囲気合っています。

おまじないのてがみ

赤羽じゅんこ著 石井 勉絵
文研出版 2011 ¥1,260 69 P 小・低学年～ 0012225335



柚葉（ゆずは）は、夏休みを田舎でおばあちゃんと過ごした。新学期、友達から仲間はずれにされたら悩む柚葉に、おばあちゃんは手紙でユーモラスな自作のおまじないを教えてくれる。祖母のメッセージからは、前向きに行動することの大切さが伝わってくる。子どもの心に寄り添うような、温かみのある文章で描かれた幼年童話。

がっこうかっぱのイケノオイ

山本悦子著 市居みか絵

童心社 2010 ¥1,260 93P 小・低学年～ 0012208279



ぼくと友達のアンドレくんは、学校の池でカエルぐらいの大きさのカップを見つけた。「イケノオイ」と名づけて家に連れて帰るが、元気がなくなってしまう。学校から流れてくるいろいろな音を聞くのが好きでいつも踊っているカップと、子どもたちとの心の交流を描く。ユーモラスな挿絵が、陽気な話の雰囲気をよく伝えている。

木いちごの王さま

サカリアス・トペリウス原作 岸田衿子著 山脇百合子絵

集英社 2011 ¥1,575 55P 小・低学年～ 0012231502



テッサとアイナは、木イチゴから出てきた小さな虫を逃がしてやります。その後、森で迷子になった2人の前に、どこからともなく食べ物やベッドが出てきますが、それは木イチゴの王さまの恩返しでした。明るい色彩の絵で実り豊かな森の様子が伝わります。長年親しまれたフィンランドの物語が、新しい挿絵でよみがえりました。

フィーフィーのすてきな夏休み（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 3番地）

エミリー・ロッド著 たしろ ちさと絵 さくま ゆみこ訳
あすなる書房 2010 ¥945 46P 小・低学年～ 0012014770



フィーフィーは忙しいお母さんネズミです。だんなさんが船乗りなので、いつもひとりで14ひきの子どもの世話をしています。疲れ果てたフィーフィーに夏休みをプレゼントしようと、チュウチュウ通りのみんなが協力しました。画家やケーキ屋、魔術師など、ハツカネズミの町の住人を、1番地から順に主人公にした全10冊のシリーズです。ご近所さんたちが、お互いに支え合い助け合って、幸せに暮らす様子がほほえましく描かれています。わかりやすい文章に、明るい彩色の挿絵が添えられ、物語を読み始めた子どもたちにも親しみやすい本です。

レインボーとふしぎな絵（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 4番地）

2010 ¥945 46P 0012061236

チャイプとしあわせのおかし（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 5番地）

2010 ¥945 46P 0012117534

クイックと魔法のスティック（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 6番地）

2010 ¥945 46P 0012168299

レトロと謎のポロ車（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 7番地）

2010 ¥945 46P 0012185367

マージともうーびきのマージ（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 8番地）

2011 ¥945 46P 0012227506

セーラと宝の地図（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 9番地）

2011 ¥945 46P 0012263779

スタンプに来た手紙（チュウチュウ通りのゆかいななかまたち 10番地）

2011 ¥945 46P 0012282200



もりのたいしょうは はりねずみ

モーラ・フェレンツ著 レイク・カーロイ絵 うちかわ かずみ訳
偕成社 2010 ¥945 47P 小・低学年～ 0012170934



小鳥から「森の大將はハリネズミ」と言われて、腹を立てたクマはハリネズミを探しました。ハリネズミはクマをだまし、自分の方が強いと信じさせます。小さな動物が知恵を使い、大きいものを出し抜くさまが痛快です。温かい色彩の挿絵や陽気な小鳥の会話からゆかいな森の様子が伝わってくる、ハンガリーのやさしいお話です。

ヴィンニとひみつの友だち(ヴィンニ! ②)

ペッテル・リードベック著 杉田比呂美絵 菱木晃子訳
岩波書店 2011 ¥1,680 156P 小・中学年～ 0012320314



小学3年生のヴィンニのクラスでは、1人ずつ「ひみつの友だち」を決めてその子に特別に親切にすることになった。彼女は自分の名前が書いてあるくじを引いたので、自分自身に親切にすることにした。父親の取材旅行に同行しイタリアを訪れたり、臨時の先生に男の子と間違えられ傷ついたり、スウェーデンの元気な女の子の日常生活をユーモラスに描く。離婚した両親、ボーイフレンド、先生など、個性的で味わい深い登場人物も魅力的だ。シンプルでさわやかな印象の挿絵も物語とあっている。『日曜日島のパパ』を含め、全4作のシリーズ。

ヴィンニ イタリアへ行く(ヴィンニ! ③)

2011 ¥1,680 154P 0012320315

われらがヴィンニ(ヴィンニ! ④)

2011 ¥1,680 142P 0012320316



うさぎの庭

広瀬寿子著 高橋和枝絵

あかね書房 2010 ¥1,155 140P 小・中学年～ 0012192273



小学4年生の修は、親が厳しく、ペットのウサギにしか気持ちを話せない。しかし、同級生の紹介で知り合ったおばあさんの話を聞くうちに、少しずつ自分の意見を口に出せるようになる。認められることで、人と向き合えるようになっていく少年の姿を、淡々とした筆致で描く。成長した少年が見せる優しさがすがすがしい。

おとなりさんは魔女（アーミテージ一家のお話1）

ジョーン・エイキン著 河本祥子絵 猪熊葉子訳

岩波書店 2010 ¥714 243P 小・中学年～ 0012096700



アーミテージ夫人は海辺で拾った石に、「これからずっと、退屈しませんように」と願ってみた。ところがそれが本当に願いのかなう石だったので、一家には毎週驚くべきことが起こるようになる。庭に100頭ものユニコーンが現れたり、夫妻が魔法でテントウムシに変えられたり。次々と起こる奇想天外な出来事に、隣の魔女に魔術の手ほどきを受けたマークとハリエットの兄妹が、あわてずに対処する様子をユーモラスに描く。1978年刊の『**とんでもない月曜日**』に未邦訳作品を加え、アーミテージ一家のおはなし全24編を3冊にまとめた連作短編集。

ねむれなければ木にのぼれ（アーミテージ一家のお話2）

2010 ¥756 288P 0012133813

ゾウになった赤ちゃん（アーミテージ一家のお話3）

2010 ¥798 314P 0012187747

カメレオンのレオン 一つぎつぎとへんなことー

岡田 淳著・絵

偕成社 2011 ¥1,050 150P 小・中学年～ 0012308307



小学校にペンギンや校長先生のそっくりさんなどが次々と現れた。町でも騒ぎが広がりだした頃、3年生のアリサの前に、別世界から来た探偵、カメレオンのレオンが現れる。2人が協力して事件を解決するまでを軽妙に描く。町中で起こる奇想天外なできごとがユーモラスで、著者による挿絵も遊び心があり話によく合っている。

ペテフレット荘のブルック

アニー・M・G・シュミット著 フィーブ・ヴェステンドルフ絵 西村由美訳
岩波書店 2011 小・中学年～

上 あたらしい友だち ¥1,995 216P 0012339373

下 とんでけ、空へ ¥1,995 222P 0012339374



小さな赤いクレーン車に乗った男の子ブルックは、ペテフレット荘の塔の部屋に住み始める。親切なハトのドリー、本屋のペンおじさん、賢いゴキブリのザザなどに会い、助け合いながらにぎやかに暮らす様子を愉快地に描く。ふんだんに使われた明るい色調の挿絵も楽しい。1971年にオランダで出版され、今も愛読されている物語。

アーベルチェの冒険

アニー・M・G・シュミット著 テー・チョン・キン絵 西村由美訳
岩波書店 2011 ¥756 294P 小・高学年～ 0012220886



14歳の少年アーベルチェが案内係を勤めるエレベーターが、3人のお客を乗せたまま空へ飛び出した。外国に行き着いた彼らは、金持ちの息子に間違えられたり、革命騒ぎに巻き込まれたりする。不思議なエレベーターに乗り合わせた人々が、言葉も通じない国で出会う騒動を軽妙に描く。1953年に出版されたオランダの物語。

犬どろぼう完全計画

バーバラ・オコーナー著 かみや しん絵 三辺律子訳
文溪堂 2010 ¥1,575 251P 小・高学年～ 0012169894



突然父が家を出て行き、ジョージナは母や弟と車の中で暮らすことになった。お風呂にも入れない生活から抜け出すため、彼女は謝礼金目当てに他人の飼い犬をさらってしまう。多感な少女が、悩みながらも自分のしたことに決着をつけるまでを、さわやかに描く。少女の書く計画ノートからは、気持ちの変化がよく伝わってくる。

おじいちゃんが、わすれても…

大塚篤子著 こころ美保子絵
ポプラ社 2010 ¥1,365 221P 小・高学年～ 0012198880

画像は
ありません

テニスに夢中な5年生の杏（もも）の心配事は、テニスを教えてくれたおじいちゃんが認知症になったことだ。念願の大会前日に祖父が行方不明になり、杏は一人で探しに行く。大切な人が変わっていくことに戸惑いながらも、寄り添おうとする少女や家族の姿を温かく描く。何事もあきらめない主人公のねばり強さが胸にひびく。

帰命寺横丁の夏

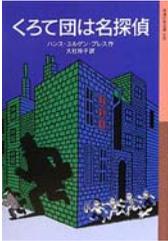
柏葉幸子著 佐竹美保絵
講談社 2011 ¥1,785 332P 小・高学年～ 0012348158



5年生の和弘は夜中に、家から白い着物の少女が出て行くのを見た。翌日その子が教室にいて驚くが、皆は前からクラスにいたと言う。彼は不審に思い調べるうちに、祈ると死者が生き返る「帰命寺様」の謎を知る。仲良くなった少女を守るため、ひたむきに頑張る少年の姿をいきいきと描く。作中小説が出てくる構成も興味深い。

くろて団は名探偵

ハンス・ユルゲン・プレス著・絵 大社玲子訳
岩波書店 2010 ¥714 254P 小・高学年～ 0012152066



「くろて団」はリーダーのフェリックスをはじめとする個性豊かな少年少女4人とリス1匹の探偵団だ。鋭い観察と推理で切手偽造犯を追いつめたり、盗まれた宝石を発見したりと大活躍する。各章にある挿絵の中に謎を解く鍵があり、それを元に物語が展開するという構成で、子どもたちの心を強くつかむ。1984年佑学社刊の改訂版。

チビ虫マービンは天才画家！

エリス・ブローチ著 ケリー・マーフィー絵 伊藤菜摘子訳
偕成社 2011 ¥1,680 406P 小・高学年～ 0012256968



甲虫（こうちゅう）のマービンは、ジェームズ少年の家に住みついている。マービンが前足で描いた絵を、大人たちはジェームズが描いたと思い込み、天才だと大騒ぎする。大画家デューラーの絵画盗難事件を通して、虫と人間とが友情を育んでいく様子をさわやかに描く。内気な少年が、前向きに変わっていく姿が共感をよぶ。

チポリーノの冒険

ジャンニ・ロダーリ著 ヴラジーミル・スチューエフ絵 関口英子訳
岩波書店 2010 ¥840 379P 小・高学年～ 0012170539



野菜と果物の国にすむ玉ねぎ坊やチポリーノの父さんが、無実の罪で捕らわれてしまった。父を救い出すために旅に出たチポリーノは、ブドウ親方やサ克蘭ボ坊やといった個性豊かな仲間とともに、横暴なレモン大公をこらしめる。賢い少年の痛快な活躍を描いた、ユーモラスな挿絵も楽しいイタリアの物語。1956年刊の改訳新版。

土曜日はお楽しみ

エリザベス・エンライト著・絵 谷口由美子訳

岩波書店 2010 ¥756 301P 小・高学年～ 0012207180



メレンディ家の4人兄弟は、毎週土曜にもらうお小遣いをまとめて、順番に一人で全部使うことにした。絵の好きな次女は美術館に出かけ、6歳の末っ子はサーカスを見に行く。第2次大戦下のニューヨークで、お父さんや家政婦さんと助け合って暮らす、個性豊かな子どもたちの冒険をいきいきと描く。著者による挿絵も魅力的。

バンビ —森の、ある一生の物語—

フェーリクス・ザルテン著 菊谷詩子表紙 ハンス・ベルトレ挿絵 上田真而子訳

岩波書店 2010 ¥798 312P 小・高学年～ 0012170538



子鹿のバンビは、草原で遊び、森の仲間たちとふれ合いながら暮らしていた。ある日母親とはぐれ、年老いた鹿と出会ったバンビは、生きるためには孤独に耐えなければならないと諭される。厳しい自然の中で生きる動物の一生が詩情豊かにつづられ、細密な線画の挿絵も、物語をひきたてている。長年読み継がれてきた名作の新訳。

パンプキン！ —模擬原爆の夏—

令丈ヒロ子著 宮尾和孝絵

講談社 2011 ¥1,260 95P 小・高学年～ 0012339807



戦争末期、核物質の入っていない模擬原爆「パンプキン」が、日本各地に投下された。大阪に住む小学5年生のヒロカは、自宅近くにも落とされていたと知り、いとこや祖父の助けを借りて模擬原爆について調べ始める。戦争を自分の身近な場所で起こった出来事として気付いてゆく少女の姿を、大阪弁の会話でテンポ良く描き出す。

ピググル・ウィググルお婆さんの農場

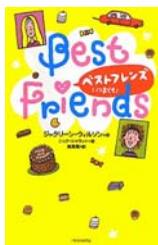
ベティ・マクドナルド著 モーリス・センダック絵 小宮 由訳
岩波書店 2011 ¥714 244P 小・高学年～ 0012296938



ピググル・ウィググルお婆さんの農場には、困った癖をもつ子どもが預けられる。ペットの世話を忘れるレベッカは、お婆さんの帰りが遅くなった日に、お腹のすいたペットの気持ちを痛感した。何事もおおらかに受けとめるお婆さんのもとの、子どもたちの癖が直っていく様子を愉快地に描く。『ピググルウィググルお婆さん』の続編。

ベストフレンズ いつまでも！

ジャクリーン・ウィルソン著 ニック・シャラット絵 尾高 薫訳
理論社 2010 ¥1,575 343P 小・高学年～ 0012152925



がさつな女の子ジェマとおとなしいアリスは、同じ日に同じ病院で生まれた大親友だ。ところがアリスが引越すことになり、2人は家出を企てる。ジェマが巻き起こす騒動と、家族や級友の男の子が、傷心の彼女を見守り支える様子をユーモラスに描く。離れても変わらないきずなと、級友との間に芽生えた友情に心が温まる。

盆まねき

富安陽子著 高橋和枝絵
偕成社 2011 ¥1,050 191P 小・高学年～ 0012330493



お盆に田舎に帰るたびに祖父たちがほら話をしてくれるのを、なっちゃんは楽しみにしている。小学3年生の夏に聞いた、字を書くナメクジやカッパの宝物の話には、祖父の戦死した兄が登場する。その年の盆踊りの日に彼女は不思議な体験をした。著者の思い出をもとに書かれた幻想的な物語には、平和への願いがこめられている。

ミンティたちの森のかくれ家

キャロル・ライリー・ブリンク著 中村悦子絵 谷口由美子訳
文溪堂 2011 ¥1,680 301P 小・高学年～ 0012213082



ミンティ一家は商売に失敗し伯母の家へ向かう途中、車が立ち往生し、近くの空き家に無断で住むことにした。生真面目な彼女は、何とかして家の借り賃を払おうと努力する。家族が協力して、苦境を乗り越えていく姿をゆったりとしたテンポで描く。1930年代のアメリカ、ウィスコンシンの豊かな自然も物語に彩りを添えている。

ウィッシュ ―願いをかなえよう！―

フェリーチェ・アリーナ著 きたざわ けんじ絵 横山和江訳
講談社 2011 ¥1,155 147P 中学生～ 0012348157



16歳の誕生日、ダウン症のセブは、100機の飛行機に願いをかける方法を弟から聞いた。骨髄移植が必要な母を助けたいと、彼は家を出て空港に向かう。オーストラリアの内陸部から遠い街まで、見知らぬ人の助けを借りつつ旅したてん末を、途中で友達になったジャックらが語る。純粋で一途な願いを、温かい筆致で描いている。

うしゅう

羽州ものがたり

菅野雪虫著 遠田志帆絵
角川書店 2011 ¥1,680 290P 中学生～ 0012227659



村長の娘ムメと孤独な少年カラスは、貴族の息子春名丸が川でおぼれているのを助けた。彼らは仲良くなるが、成長してそれぞれの道を歩みだす。878年元慶の乱が起きた東北を舞台に、再会した3人が立場の違いを越えて、乱を収束させようとする懸命な様子を丁寧に描く。その姿から、自ら考え行動することの大切さが伝わってくる。

クロティの秘密の日記

パトリシア・C・マキサク著 門内幸恵絵 宮木陽子訳
くもん出版 2010 ¥1,575 287P 中学生～ 0012190303



クロティは農園で暮らす12歳の奴隷だ。主人の息子が勉強する間、うちわであおぐ係をして読み書きを覚えたが、見つされると罰をうけるので秘密にしている。南北戦争の頃、奴隷の逃走を手助けしていた女性の実話をもとに、支配される人々の日常を少女の日記の形でつづる。自由に生きたいという少女の切実な願いが伝わってくる。

最果てのサーガ 1～4

リリアナ・ボドック著 丹地陽子絵 中川紀子訳
PHP研究所 2011 中学生～

- | | | | | |
|---|-----|--------|------|------------|
| 1 | 鹿の時 | ¥2,310 | 366P | 0012206236 |
| 2 | 影の時 | ¥2,520 | 413P | 0012206237 |
| 3 | 泥の時 | ¥2,100 | 278P | 0012241787 |
| 4 | 火の時 | ¥2,310 | 350P | 0012241788 |



アルゼンチン出身の著者が、南米の先住民の神話や文化を題材に、生き物と闇（やみ）の力との壮絶な戦いを描いた長編ファンタジー。虚無の王ミサイアネスは、「肥沃（ひよく）な土地」の生き物全てを滅ぼそうと軍勢を送り込んだ。それを知った「肥沃な土地」では、様々な部族が集結し立ち上がる。しかし、権力への野心から仲間を裏切る者があらわれ、苦しい戦いをしいられる。「最果て」より召集された戦士ドゥルカンセリンやその息子トウングル、元旅芸人のククブが、過酷な運命に立ち向かい、愛するもののため懸命に戦う姿に胸をうたれる。

遠い親せき

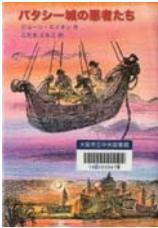
ウーリー・オルレブ著 小林 豊絵 母袋夏生訳
岩波書店 2010 ¥1,470 110P 中学生～ 0012182725



ウーリーとイグアルはイスラエルの施設で暮らす孤児の兄弟だ。ホロコースト生存者リストで名前を見た遠縁のおじから手紙が届き、お金のない2人は、夜中に牛乳運搬車に便乗して会いに行く。少年の無茶な行動から、家庭の温もりを求める一途な気持ちが伝わってくる。気丈な兄とやんちゃな弟のやりとりがほほえましい物語。

バタシー城の悪者たち

ジョーン・エイキン著 パット・マリオット絵 こだま ともこ訳
富山房 2011 ¥1,870 407P 中学生～ 0012329521



19世紀のロンドン、身寄りのない少年サイモンは絵を学びにやってきた。だが、下宿先のトワイト夫妻が国王を亡き者にしようと企む悪党の一味だと気づき、口封じに誘拐されてしまう。心優しい少年が、勝気な少女ダイドーや仲間たちと、陰謀を阻止しようと奮闘する姿を痛快に描く。「ダイドーの冒険」シリーズ2作目の改訳新版。

ふぁいと！ 卓球部

横沢 彰著 小松良佳絵
新日本出版社 2011 ¥1,575 188P 中学生～ 0012286791



中学1年生の拓は、倉庫に追いやられた弱小男子卓球部に入部することになる。不良の先輩に貴重な練習場所をのっとられたり、体育館での練習をかけた女子部との対決に惨敗したりと、男子卓球部5名はどこまでもさえない。勝ち負けよりも好きだから卓球をするという部長の信念に引っ張られ、まとまりのなかった部員たちが同じ目標に向かって練習に取り組むようになる様子を、素直な文章でユーモラスに描いている。周囲からバカにされても、なりふり構わず卓球に打ち込み、大会で善戦するまでに成長した彼らの姿に、胸が熱くなる。

どんまい！ 卓球部 2011 ¥1,575 173P 0012304130
がんばっ！ 卓球部 2011 ¥1,575 173P 0012350483

○ よみつがれてきた物語 ○

子どもに語る イギリスの昔話

ジョセフ・ジェイコブズ再話 松岡享子編・訳 太田大八絵
こぐま社 2010 ¥1,680 205P 小・中学年～ 0012162096



猫や犬を仲間にし、泥棒をやっつける「ジャックの運さがし」などを収録。イギリスで長年に渡り親しまれている昔話集より、16編を厳選している。子どもにお話を語り続けるなかで練られてきた訳は、読みやすく、耳で聞いても分かりやすい。怖い話や残酷な話にもユーモアの感じられる、イギリスの昔話の特徴をよく伝えている。

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

アラスカ無人島だより

松本紀生著
教育出版 2010 ¥1,785 39P 小・中学年～ 0012179473



雪と氷の印象が強いアラスカだが、夏には太陽が照り、様々な動物が盛んに活動する。著者は現地の無人島でキャンプをし、時々来る観光客たちと触れ合いながら、その自然を写真に収めた。ふかふかのコケでおおわれた森や、呼吸の際に出る泡を利用してニシンを捕まえるクジラなど、緑豊かで生命あふれる自然の様子に驚かされる。

ぼくらは闘牛小学生！

—牛太郎とともに、中越地震から立ちあがった子どもたち—

堀米 薫著
佼成出版社 2011 ¥1,575 128P 小・中学年～ 0012354498



小千谷市の東山小学校では、伝統文化である闘牛に参加するために、牛太郎と名づけて牛を飼いはじめた。そんな中、中越地震が起こる。被災した児童が、再び闘牛に取り組み、震災後の苦難を乗り越えていく様子を写真を交えて紹介する。子どもたちと牛太郎がともに成長していく姿が生き生きと描かれており、勇気づけられる。

ある子どもの詩の庭で

ロバート・ルイス・ステューヴンソン著 イーヴ・ガーネット絵 間崎ルリ子訳
瑞雲舎 2010 ￥1,575 125P 小・高学年～ 0012148154



眠らず遊んでいたい男の子の気持ちが伝わる「夏の寝床」など、66編の詩を収録する。『宝島』の著者が幼い頃の思い出をもとに、子どもの弾むような喜び、驚きを素直な言葉でつづる。青インクで印刷された鉛筆画も、子どもの情景を詩情豊かに表現している。1885年に英国で出版されて以来、長く読みつがれてきた詩集の完訳。

折り紙でたくさんの笑顔を ―盲目の「折り紙大使」加瀬三郎物語―

田島栄次著・写真 永井泰子・石川えりこ絵
学研教育出版 2010 ￥1,260 119P 小・高学年～ 0012154464



幼い頃に視力を失った加瀬三郎は、仕事のかたわら折り紙を独学した。ベトナム難民の子どもに教えたことがきっかけで、内戦や病気で苦しむ子どもたちを折り紙で励ますようになる。その姿を共に世界を旅したカメラマンが友情をこめて描く。言葉が通じなくてもみんなが笑顔になれる、折り紙のすばらしさに改めて気づかされる。

私は海人（うみんちゅ）写真家 古谷千佳子

古谷千佳子著
岩崎書店 2011 ￥1,365 183P 小・高学年～ 0012297687



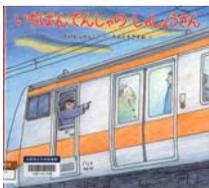
沖縄の海に魅せられた著者は、移住して漁師になる。だが、沖縄の漁師・海人の生き様に、人間の暮らしの原点があると気づき、それを表現するため写真家に転身する。捕らえた魚を食べ、命の尊さを実感するなど、彼女の強い感受性が印象的だ。著者が伝える人々の暮らしは人間味豊かで、自然との共生について考えさせられる。

○ 知識の本 ○

☆いちばんでんしゃの しゃしょうさん

たけむら せんじ著 おおとも やすお絵

福音館書店 2011 ¥1,365 35P 24×26cm 小・低学年～ 0012314423



車掌のやまなかさんは3時半に起きます。今日の天気と注意事項を確認し、時計の時刻を合わせます。始発電車に乗り込み、安全に気を配りながら東京駅を目指す車掌の仕事を、時間に沿って描く絵本です。電車の装置などが分かりやすく説明されており、柔らかい色調の絵も親しみやすく、車掌の仕事の楽しさが伝わってきます。

☆オランウータンに会いに行く

横塚眞己人著

偕成社 2011 ¥1,470 40P 26cm 小・低学年～ 0012330576



熱帯雨林で野生のオランウータンに会うのが夢だった著者は、東南アジアのボルネオ島に向かう。自ら70メートルを超える大木に登り、そこで暮らすオランウータンや様々な生きもの、それをとりまく豊かな自然を写真で紹介する。訓練をして何度も木に登り、観察を続けた著者の文章はわかりやすく、自然への愛情が伝わってくる。

☆きのこ —ふわり胞子の舞— (ふしぎいっぱい写真絵本18)

埴 沙萌 (はに しゃぼう) 著・写真

ポプラ社 2011 ¥1,260 35P 21×26cm 小・低学年～ 0012367383

画像は
ありません

キノコに光をあてると、煙のような胞子が出ているのがわかる。キノコは雨の時に元気になり、しずくを受けて胞子を噴き出したり、虫に運ばせたりしている。あまり知られていない、その不思議な生態を、写真家である著者が写しだす。ヒトヨタケなどのキノコから胞子が舞い散る様には、幻想的な美しさがある。

アフガニスタンの少女マジャミン

長倉洋海著・写真

新日本出版社 2010 ¥1,680 47P 小・中学年～ 0012156661



アフガニスタンの村に住むマジャミンは、山あいの学校の4年生だ。毎日羊の世話や、家の手伝いをしながら学校へ通っている。世界の紛争地で取材を続けてきた著者が、彼女たちの暮らしを美しい写真で紹介する。ソ連との戦争後、復興が進まないなかで助け合い、少しずつ元の生活を取り戻そうとする人々の姿が印象的だ。

カモのきょうだい クリとゴマ

なかがわ ちひろ著・絵 中村 玄写真

アリス館 2011 ¥1,470 143P 小・高学年～ 0012355517



息子のゲンが、雨で流されたカルガモの巣から卵を拾ってきた。著者一家は卵をふ化させ、自然に返そうと奮闘する。怖がりのクリとのんびりやのゴマの性格の違いや、カルガモの生態が、易しい文章と愛らしい写真や挿絵で紹介され興味深い。人間を親だと思いが甘えてくる野鳥と節度を保って向き合う、著者の姿勢に好感が持てる。

戦争を取材する ―子どもたちは何を体験したのか― (世の中への扉)

山本美香著

講談社 2011 ¥1,260 190P 中学生～ 0012331906



ウガンダの元少年兵が、リハビリセンターで人間らしい感情を取り戻していく様子など、子どもへの直接取材をもとに世界各地の紛争の状況を紹介します。紛争の原因やそれが続いている理由についてもまとめられており、解決には相互理解が大切であると訴えている。子どもたちの気持ちをぜひ伝えたいという著者の想いが胸に迫る。

こどものほんだな 50年のあゆみ

- 過去 50 年の間にこどものほんだなで紹介された本から、掲載年ごとに 1 冊ずつ（1962 年のみ 2 冊）選びました。
- 書誌事項と紹介文は原則として掲載当時のままですが、一部修正をしています。

ひとまね こざる エッチ・エイ・レイ著・絵

岩波書店 55 P (岩波の子どもの本)

【1962 年掲載】

しりたがりやのサルの子ジョージが、ある日動物園をぬけ出して町へ行き、次々といたずらをしては失敗する。軽妙でユーモアにあふれた絵も、主人公の行動も、こどもの心にピッタリあう。最もよく読まれる本の一冊。

だれも知らない小さな国 佐藤 暁著

講談社 202 P

【1962 年掲載】

主人公は小学三年生の時、山へ遊びにいった小人に会う。小人にひきつけられた少年は、小人の理解者となり小人の国をつくる物語。主人公の小人との友情や平和を願う気持ちがよく描かれている。

いたずら きかんしゃ ちゅうちゅう バージニア・リー・バートン著 村岡花子訳

福音館書店 44 P

【1963 年掲載】

機関車のいたずらぶりは、子どもたちの心理にぴったりのあい、この本が好きになる要素になっている。動的な絵がお話の進行とよく調和し、全体に活気があふれた絵本となっている。

ぼくは王さま 寺村輝夫著

理論社 169 P

【1964 年掲載】

卵焼きの好きな王さまに赤ちゃんが生まれる。王さまはゾウの卵焼きを作らせようとする「ぞうのたまごのたまごやき」ほか 3 編を載せている。王さまのわがママが子どもの心にぴったりとする物語。

エルマーのぼうけん ルース・スタイルス・ガネット著 渡辺茂男訳

福音館書店 116 P

【1965 年掲載】

動物島でとりこになったリュウの子を、エルマー少年が助ける、アメリカで人気のある創作童話。エルマーの機知と冒険や動物たちのユーモラスな会話は、子どもの空想の世界を大きく広げる。

ぐりとぐら 中川李枝子著 大村百合子絵

福音館書店 27 P

【1966 年掲載】

二匹のノネズミが森で自分たちの身体の何倍もある大きな卵を見つけ、森中の動物がみんなで食べられる大きなカステラをつくるという楽しい話。絵も可愛らしく 4、5 歳の女の子に特に喜ばれる。

ライオンと魔女 C. S. ルイス著 瀬田貞二訳
(ナルニア国ものがたり 1)

岩波書店 256P
【1967年掲載】

4人の子どもが、洋だんすの中から別の世界ナルニア国にはいり、魔女と戦ってその国を長い冬から解放する話。妖精や小人、ライオンを交えた大事件や冒険など、ふしぎな国のふしぎな空想物語。

いない いない ばあ 松谷みよ子著 瀬川康男絵

童心社 20P
【1968年掲載】

こどもがはじめて絵本とむかいあったとき絵本に語りかけ、また自分も、動作をしてたのしむだろう。そんなときにびったりの絵本である。親しみのある動物が、やわらかく美しい色調で描かれている。

トムは真夜中の庭で フィリップ・ピアス著 高杉一郎訳

岩波書店 303P
【1969年掲載】

へやに閉じこめられ、退屈しきっていたトムは、真夜中に古時計が13時を打つのを聞く。とたんに時は逆戻りし、彼は昼間なかった庭で不思議な少女に出会う。現実と幻想の世界を巧みに織りまぜたファンタジーの名作。

ともしびをかかえて ローズマリ・サトクリフ著 猪熊葉子訳

岩波書店 429P
【1970年掲載】

ローマから、サクソン人の支配下にはろうとする3世紀のイギリス。ローマ軍団の指揮者から蛮族の奴隷へ、やがてブリテン軍の将としてはなばなく戦いぬく青年アキラの半生が、見事な構成で描かれた歴史小説の傑作。

スーホの白い馬 大塚勇三再話 赤羽末吉絵

福音館書店 46P
【1971年掲載】

モンゴルの草原に住むスーホ少年が、白い小ウマをひろい育てたが、殿様にうらざられ、ウマは死んでしまう。少年は悲しみの中から馬頭琴という楽器を作る。絵がすばらしく話の美しさと悲しさをいちだんと高めている。

ピーター・ラビットの絵本1～3集 ビアトリクス・ポター著・絵 石井桃子訳

福音館書店
9冊
【1972・73年掲載】

ゆったりのどかな田園風景をバックに、その中に住む小動物のいとなみが、きまじめにそしてユーモラスに描きだされている絵本である。孤独で心美しい素封家の一女性が作りだしたものだけあって、絵はあくまでも余裕あるやさしさにつつまれ、華麗な細密画にはきびきびと動く動物たちの表情がたくみにとらえられている。子ども、おとなを問わず、自然の生活の中に目を向け、美の世界に遊ぶことができるだろう。

ムギと王さま エリナー・ファージョン著 石井桃子訳

岩波書店 470P

【1972・73年掲載】

晩年の著者が、みずから選んだ自作の子どものお話 27編を収めている。標題になっている「ムギと王さま」のように寓(ぐう)話ふうなものほか、こっけいなもの、昔話ふうなものなど、お話はさまざまである。著者は、この本を「お話の小部屋」と呼んでいるが、おとなが読んでも楽しく、お話の宝庫といえよう。うち数編はすでに出版されているが、全訳は今回ははじめて。

からすのパンやさん 加古里子著・絵

偕成社 30P

【1974年掲載】

泉が森のカラスのパン屋に4羽の子どもが生まれた。育児に追われた両親は、家業に専念できずお客の不評を買う。あるときおやつに与えたパンがきっかけで、子どもの友だちに受け、おもしろくてすてきなパンを家族そろって作り上げる。パン屋の店頭は大繁盛のおおさわぎ……。子どもの気持ちをひきつける文章と、ユーモアあふれるさし絵がよく調和した、愉快的な絵本である。

ロールパン・チームの作戦 E. L. カニグズバーグ著 松永ふみ子訳

岩波書店 220P

【1975年掲載】

マークは、母親が彼の野球チームの監督に、兄がコーチになったため、複雑な立場に立たされた。その上、親友のハーミュは隣町に引越してからというもの妙によそよそしい。そうした悩みの多い毎日を送る中で、マークは、ユダヤ教徒の成人式ともいうべきバーミツバの式の準備にとりかかっていた。ごく普通の少年の日常生活における微妙な心の動きが、ニューベリー賞受賞作家による軽妙なウィットに富んだ文章でみごとに描き出されている。

ろくべえ まってろよ 灰谷健次郎著 長 新太絵

文研出版 30P

【1976年掲載】

1年生のえいじくんは、穴に落ちたイヌのろくべえを助けようと、友だちと大奮闘をしたり、お母さんと呼んできたりするが、とても無理。こどもたちが暗い穴にむかって力を注いでいる姿が緊迫感にあふれ、思わず読み手をひきこむ。水彩の絵もみごとである。

かいじゅうたちのいるところ モーリス・センダック著・絵 神宮輝夫訳

富山房 38P

【1977年掲載】

いたづらをしすぎて、夕ごはんぬきで寝室に追いやられたマックスぼうや。ぼうやの想像力は、そこで、どんどん広がって……。孤独な状況に追いやられた子どもの心に浮んだ幻想の世界を、細かいペン画に着色した独特な絵で描いた絵本。

旅の絵本 安野光雅著・絵
福音館書店 48P
【1978年掲載】

鳥瞰（かん）図の手法を使い、中世のヨーロッパを思わせる風景の中をいく旅人の姿を点景として描いている。村から町への1日の行程の中に、ありえない構図や昔話の場面などが描かれており、いたるところで新鮮な驚きに出会う言葉のない絵本。

北へ行く旅人たち 一新十津川物語 川村たかし著
偕成社 254P
【1979年掲載】

山津波により大きな被害を受けた十津川村の人々が、明治政府のはからいで北海道へ集団移住することになった。瞬時にして家と父母を失った9才のフキは、姉と別れ兄とともにこれに加わるが…。荒涼とした原野で寒さと飢えに耐えて生き抜き、新しい村を築く人々を描く。

ぶた たぬき きつね ねこ 馬場のぼる著・絵
こぐま社 40P
【1980年掲載】

書名を読むだけでも、そのことばのリズムとしりとり遊びの楽しさが伝わってくる絵本。おひさま、まど、どあと一見無関連なことばが続きながらも、簡単なストーリーが展開する。まんが家によるユーモラスな絵とともに、ことば遊びの楽しさを教えてくれる作品。

クラバート オトフリート・プロイスラー著 中村浩三訳
偕成社 349P
【1981年掲載】

クラバートは、水車小屋の見習いとなるが、親方は実は魔法使いで、職人たちは魔法を習う代償として毎年一人が親方の身がわりとして死なねばならない。3年後、クラバートは自由と愛のため命がけて親方と対決する。古い伝説の魅力を生かした力強い印象の残る物語。

“機関銃要塞”の少年たち ロバート・ウェストール著 越智道雄訳
評論社 302P
【1982年掲載】

14歳の少年チャスたち5人は、墜落した飛行機から機関銃を盗み出し、ドイツ軍の侵攻に備え自分たちだけで要塞(さい)を作り始める。第2次大戦下、ドイツ軍の空襲を頻繁に受けるイギリス北東部の港町を舞台に、緊迫した時代をしたたかに生きる子どもたちを描いた物語。

はてしない物語 ミヒャエル・エンデ著 上田真而子、佐藤真理子共訳
岩波書店 589P
【1983年掲載】

物語の国ファンタージェンの危機を知ったバスチアンは、救いを求める声に応じて、本の中にとびこんでいく。巧みな構成と、物語そのままの造本が素晴らしく、雰囲気を高めている。すべて物語は人間性の源であるという作者の思いが込められた、格調高いファンタジー。

やかましむらのこどもの日

偕成社 61P

【1984年掲載】

リンドグリーン著 やまのうちきよ子訳

やかまし村の子どもたちは、小さいシャスティーンのために「こどもの日」を作りますが、何をしてあげても彼女は泣いてばかり。とうとうリーザおばさんにおこられてしまいます。子どもたちの素朴な発想と生きいきとした姿が描かれたこのシリーズの幼年向け最新刊。

のはらうた I

童話屋 155P

【1985年掲載】

工藤直子著

「のはらむら」にすむ動物や植物、風や海といった自然までが、次々に登場し、それぞれの詩をうたいます。著者独特のユーモアの中に、繊細さを秘めた口調と、印象的な装丁が相まって、明るくのびやかな自然の姿を、イメージ豊かに表現している詩集です。

しゃっくりうた

理論社 118P

【1986年掲載】

まど・みちお著

詩人の眼は、道端のハキダメギクや、電車のつりわや、風などに向けられる。そして、ユーモアをにじませたさりげない言葉で、鋭く真実をうたう。犬に始まり、宇宙の1つぶである人間の存在で締めくくられたこの詩集は、各編ごとの挿絵と共に、さわやかで深い印象を残す。

かさどろぼう

福武書店 24P

【1987年掲載】

シビル・ウェタシンへ著・絵 猪熊葉子訳

スリランカの小さな村でのお話。町に出かけて、初めて傘を見たおじさんは、傘を1本買い求めるが、村の皆に見せびらかす前に盗まれてしまう。何度やっても同じことで、一計を案じ——。笑いをさそう思いがけない結末と、南国らしい明るい大胆な色使いの絵が楽しい絵本。

ルドルフとイッパイアッテナ

講談社 274P

【1988年掲載】

斉藤 洋著

偶然、トラックで、東京に来た黒ネコのルドルフは、トラネコのイッパイアッテナと出会う。学校給食のシチューをごちそうになったりして、毎日が愉快なノラネコ生活だったが……。兄貴肌で字が読めるイッパイアッテナと、ルドルフが繰り広げる、人間顔負けの友情物語。

いちねんせい

小学館 47P

【1989年掲載】

谷川俊太郎著 和田 誠絵

「せんせい」、「なまえ」など1年生が出合うものを素材に、はずむ気持ちを伝える詩、「こいぬが くん／きつねが こん」で始まる「くんぼんわん」のようなことば遊びうたなど、23編を収める。シンプルな絵とあいまって、リズムとユーモアでいっぱいの詩の絵本。

こんとあき 林 明子著・絵
福音館書店 40P
【1990年掲載】

こんは、あきが生まれた時からずっと仲よしのきつねのぬいぐるみ。ある日、こんのうでがほころびてしまい、「だいじょうぶ。おばあちゃんになおしてもらおうから。」と言うこんについて、あきも電車に乗ってでかけます。生きいきしたやわらかなタッチの絵が魅力的な絵本。

たいへんなひるね さとうわきこ著・絵
福音館書店 32P
【1991年掲載】

もう4月だというのに寒い日が続き、おまけに雪まで降ってきた。外で昼寝がしたいばあちゃん、ラッパで動物たちを起こし、「もう春だよー」と、みんなの大声を空に打ち上げた。豪快なばあちゃんが、雷様までまきこんで春を呼ぶ様子を、ユーモラスな絵で描く絵本。

もけら もけら 山下洋輔著 元永定正絵
福音館書店 32P
【1992年掲載】

始まりは「もけら もけら」。「ころ もこ めか」、「しゃばら しゅびら」、「えべべ てべべ」などと続き「だば！」で終わる。ジャズピアニストが生み出した奇抜でリズムカルな言葉は、色彩感覚の優れた抽象画によく調和している。いまにも「音」が飛び出してきそうな絵本で、思い思いに声に出して楽しみたい。

子ブタ シープピッグ ディック・キング＝スミス著 木原悦子訳
評論社 154P
【1993年掲載】

農夫のホギットさんは、ひよんなことで子ブタを手に入れた。農場のシープドッグ（牧羊犬）フライの里子になった子ブタベイブは、シープピッグをめざして努力を始め、次第に才能を発揮していく。シープピッグという愉快な発想と、動物たちのユーモラスなやりとりが楽しい作品。けなげな子ブタと農夫との触れ合いも心温まる。

子どもに語るグリムの昔話 1～6 佐々梨代子、野村 滋共訳
こぐま社
6冊
【1994年掲載】

佐々氏は、長年子どもたちにお話を語ってきた。その経験を生かし、ドイツ文学者野村氏の助力を得て、グリム童話の中から「七わのガラス」や「いばらひめ」など、子どもに語るのに向く話を、全6巻で64話選び、原書の内容に忠実に訳している。語りやすく美しい訳文は、物語の情景をいきいきと伝え、昔話の面白さを満喫させてくれる。子どもが自分で読んでも楽しめるが、耳から聞くことで一層味わい深い。各々の巻末に、語った時の印象や子どもの反応、いくつぐらいから楽しめるか解説があり参考になる。版型もコンパクトで手にとりやすい。

シロクマたちのダンス ウルフ・スタルク著 菱木晃子訳

佑学社 223P

【1995年掲載】

ラッセは学校の勉強が苦手で、友達といたずらばかりしている。ある時、仲が良かったはずの両親が、突然離婚し、彼は大好きな父と離れてしまう。母の再婚相手は、そんなラッセを優等生に変身させようとするが……。自分らしく生きる事の大切さや、本当の親子の絆とは何かを、時にはユーモラスに、時にはしみじみと描いた作品。

絵で読む広島原爆 那須正幹著 西村繁男絵

福音館書店 84P

【1996年掲載】

50年前の8月の朝、広島に史上初めて、原爆が投下された。本書は、生存者の証言をもとに、被爆前後の広島を鳥瞰(かん)図で精密に再現し、原爆の残酷さを忠実に伝えている。また、原爆投下に至る歴史、核兵器や放射能被害などの核に関する知識についても、地図や図版を用いて、理解しやすい配慮がなされている。

精霊の守り人 上橋菜穂子著

偕成社 325P

【1997年掲載】

精霊の卵を宿した皇子チャグムを守るため、女用心棒バルサは、彼と共に旅に出る。皇国の建国史と原住民ヤターの伝説のはざまに隠れた精霊の卵とその天敵、卵食いの正体とは……。姿の見えない敵との戦いと、バルサや彼女の仲間との触れ合いの中で、人間として成長していくチャグムの姿を描くファンタジー。

魔法使いハウルと火の悪魔 ダイアナ・ウィン・ジョーンズ著 西村醇子訳

(空中の城1)

徳間書店 310P

【1998年掲載】

魔法の国インガリーに住むソフィーは、荒れ地の魔女の呪いで老婆に変えられてしまいます。家を出て、悪名高い魔法使いハウルの空中の城に住み込み、呪いを解いてもらう機会をうかがううちに、彼の意外な素顔を知り、力を合わせて魔女と戦おうとします。独創的な世界を意外性のある展開で描いたファンタジー。

マンヒのいえ クォン・ユンドク著・絵 みせ けい訳

セーラー出版 34P

0000684185

【1999年掲載】

マンヒは狭いアパートから祖父母の広い家に引っ越しました。調度品がいっぱいのアンパン(座敷)や、かまどのある庭、かめの置かれた納屋など、家の中の様子が見開きごとに、抑えた色彩で細やかに描かれています。ソウルに実在する家をそのまま描いたこの絵本からは、韓国の中やそこに住む家族の生活が伝わってきます。

みみずのカーロ ―シェーファー先生の自然の学校― 今泉みね子著

合同出版 126P

0000754378

【2000年掲載】

ドイツのメルディンガー小学校には、ゴミ箱が1つしかない。ゴミについて学習を繰り返し、子どもたちがゴミを出さなくなったからだ。カーロと名付けたミミズがゴミを土に還す様子を観察したり、川岸に木を植えたり。子どもと自然の関わりを大切に先生が、地域の人達とともに続ける環境教育について、具体的に書いた本。

穴 ルイス・サッカー著 幸田敦子訳

講談社 310P

0000767127

【2001年掲載】

不運な一家の四代目、スタンリーは無実の罪で砂漠にある施設に送られる。毎日穴を掘り続ける決まりには何か訳がありそう。そんなある日仲間のゼロが逃げ出した。少年は過酷な状況の中で、自己を見つめ、希望を捨てず、命をかけて友を助けようと脱出を図る。一族の不運を覆すまでを、昔の因縁を織り混ぜて描く痛快な冒険物語。

やまんばん山のモッコたち 富安陽子著

福音館書店 286P

0010301854

【2002年掲載】

ある冬の日、やまんばん山に入りこんだ啓太は、やまんばんの娘まゆと出会い、友達になる。雪を降らず寒立馬(かんだちめ)を狙う雪女の追跡、かっぱの相撲大会への出場など、二人は活躍する。やまんばん親子や、人間とも動物ともいえない生き物、モッコたちの暮らしをほのぼのと描いた楽しいお話し集。書き下ろし作品を加え復刊。

ぜったい たべないからね ローレン・チャイルド著・絵 木坂 涼訳

フレーベル館 32P

0010232047

【2003年掲載】

好き嫌いが山ほどある妹に手をやくお兄ちゃんが、いいことを思いつく。にんじんと木星の「えだみかん」、さかなフライは人魚の「ころもうみ」など、奇想天外な名前につられて、妹は思わず食べてしまう。兄妹ならではのやりとりがおもしろい。コラージュを活かした明るい画面に、二人の表情がユーモラスで現代的な絵本。

カマキリ 今森光彦著・写真

アリス館 32P

0010520955

【2004年掲載】

カマキリの大きな複眼、カマについた鋭いとげ、しなやかな動きを、鮮やかに見せてくれる写真絵本。親しみを込めて、昆虫を撮り続ける写真家の目は、カマキリの姿を周囲の自然ごと美しくとらえる。語りかけるようなかざらない文章とあわせて、秋から冬にかけての野山に居合わせたような臨場感とすがすがしさを感じさせる。

モギ ーちいさな焼きもの師ー リンダ・スー・パーク著 片岡しのぶ訳

あすなろ書房 200P

0010646051

【2005年掲載】

橋の下で暮らす貧しい少年モギは、焼き物師ミンのもとで働き出す。モギは、尊敬するミンに王宮お抱えの焼き物師になってもらいたいと切望し、師の作品の素晴らしさを伝えるため奔走する。12世紀後半の韓国を舞台に、高麗青磁に憧れ、情熱を注ぐ少年の懸命さや、それを見守る大人たちの思いが丁寧に描かれ、胸に迫る。

ふうじん ひしゅう

風神秘抄 荻原規子著

徳間書店 590P

0010984992

【2006年掲載】

平安末期、自然と共鳴できる笛を吹く草十郎と、鎮魂の舞を舞う糸世が出会うことで、人の運命を変える力が生じた。特殊な能力を持つ少年と少女の恋の行方を、源平の争乱を交えて描く。挫折した少年が、生きる目的を新たに見つける姿がすがすがしい。歴史・古典を題材にし、よく練られた構成で壮大な物語をじっくり読ませる。

おへそのあな 長谷川義史著・絵

B L出版 32P
0011281537

【2007年掲載】

お母さんのおへその穴から、赤ちゃんが外の世界をのぞいています。生まれてくる赤ちゃんのために、おもちゃを作るお兄ちゃんや花を植えるお姉ちゃんなど、誕生を楽しみに待っている家族の様子が、逆さまに映し出されます。赤ちゃんがいるおなかの中を、絵の具をにじませた柔らかな筆遣いで描いた、ほのぼのとした絵本です。

百まいのドレス エレナー・エステイス著 ルイス・スロボドキン絵 石井桃子訳

岩波書店 92P
0011314536

【2008年掲載】

ドレスが家に百枚あると言ったことで、貧しい移民の子ワンドは、級友たちにいつもからかわれていました。ある時、ワンドが百枚のドレスの絵で、コンクールの1等賞をとります。彼女をいじめた級友のマデラインの考え、悩む姿を描いた1954年刊『百まいのきもの』の改訳。ワンドの残したドレスの絵が美しく印象的です。

ホネホネたんけんたい 西澤真樹子監修・解説 松田素子著 大西成明写真

アリス館 32P
0011581195

【2009年掲載】

ウサギの耳やしっぽに骨はある？ ハイヒールをはいたような足の骨は誰のもの？ 動物の骨格を観察すると驚くべき発見があります。自然史博物館で標本制作チームを率いる監修者が、生き物の生態から進化の秘密まで、骨の研究でわかるあれこれを紹介。生きた姿そのままの躍動感やユーモアを感じる、楽しい骨格写真集です。

ゴインキョとチーズどろぼう エミリー・ロッド著 たしろ ちさと絵 さくま ゆみこ訳
(チュウチュウ通りのゆかいななかまたち1番地)

あすなる書房 46P
0011930380

【2010年掲載】

チュウチュウ通り1番地に住むお金持ちネズミのゴインキョは、金色のチーズを山のように持っています。ある日、ガードマンのふりをした3匹のドブネズミに、大切なチーズをそっくり盗まれそうになりますが、家なしネズミのパートの機転で難を逃れます。ハツカネズミの町の、個性的で愛らしい住人たちがおりなす、ほほえましい物語です。大きな活字で読みやすく、全ページに描かれた表情豊かなカラー挿絵が、お話をひきかたてています。1番地から10番地を舞台に、シリーズ全10冊で刊行予定です。見開きにはチュウチュウ通りの地図つき。

1ねん1くみの1にち 川島敏生著・写真

アリス館 40P
0012141834

【2011年掲載】

朝、小学校の教室に元気な1年生が登校する。教室を見渡す位置から撮影した写真を軸に、にぎやかな学級の1日を追う。虫が好きだったり、お化けの話をしたりなど、子どもたちの言葉や気持ちがふきだして表現され、それぞれが見せる表情が楽しい。各自の筆箱や1ヵ月の給食なども紹介され、見慣れた学校が新鮮にうつる。

「子どもの本棚」委員会選定基準

1. 著者(訳者、画家、編者、監修者を含む)

- (1) 新しい著者については、これまでの経歴を調べ、その信頼度は高いか。
- (2) すでに著作がある著者については、それまでの著作が評価されているか。また、それらの著作を比較してどうか。

2. 出版社

- (1) これまでに児童図書を出版しているか。本作りに対する姿勢はたしかか。
- (2) 新たに児童図書を出版した出版社については、その目的、意図、方針などはどうか。

3. 内容

- (1) 著者の意図する読者に範囲があっているか。
- (2) 子どもの知的、又は、情緒的な経験を広げることのできるものであるか。
- (3) 著者の考えが、はっきり出ているか。
- (4) 作品のテーマ、構成が読者を引きつけ、俗悪に流れず、文学性豊かなものであるか。
- (5) 絵本の場合は、文章と絵の関係がうまくとけあっているか。
- (6) 知識は正確でわかりやすく、かつ、時代の進歩に応じ、論理的に発展しているか。
- (7) 索引の構成に工夫がみられるか。また、便利に利用できるか。
- (8) 増補、改訂が適切にされているか。

4. 表現

- (1) 読者の発達段階に適した表現を、用いているか。
- (2) 子どもの心情を豊かにするよう叙述されているか。
- (3) 文章は明確で、しかも簡潔に書かれているか。
- (4) 漢字、かな使い、ふりがなが適切か。
- (5) 明りょうで正確な写真、絵画、グラフ、図表などにより視覚化し、子どもの理解を助けているか。
- (6) 写真、絵画は、美術性をそなえているか。

5. 形態

- (1) 紙質、印刷、判型、活字、組版は適切であるか。
- (2) 装丁は適切で、芸術的価値をもっているか。
- (3) 造本は耐久性のあるものか。
- (4) 子どもが興味を持つ形態で、取り扱いが容易であるか。
- (5) 図版、写真、色彩は鮮明か。

6. 価格

内容にふさわしく適切か。

7. その他

- (1) 古典、翻訳作品については、原文の意味を正確に伝え理解しやすいか。又、原著の持ち味そのままをあらわし、原著について解説がつけてあるか。
- (2) 民話、神話、伝説については、再話にさいし、ストーリーがしっかりしたもので、適切な表現を用いているか。

対象年齢別索引

☆：絵本 ◆：行事読み聞かせ向き

赤ちゃん～

- 本の世界のはじめに(絵本)○
- ☆◆こちょこちょ……………5
- ☆◆どんどこどん……………5

幼児～

- 本の世界のはじめに(絵本)○
- ☆おかあさんは、
なにしてる?……………5
- ☆◆おばあちゃんのおはぎ……………6
- ☆◆おはなし しましろう……………6
- ☆さあ、とんでごらん!……………6
- ☆どろんこのおともだち……………7
- ☆ねむれない
ふくろう オルガ……………7
- ☆◆はるがきた……………7
- ☆◆パンツのはきかた……………8
- ☆ベンジーのもうふ……………8
- ☆◆ぼくもおにいちゃんに
なりたいな……………8
- ☆みてよ ぴかぴかランドセル……………9
- ☆◆みんなでせんたく……………9

小学校低学年～

- 本の世界のはじめに(絵本)○
- ☆教会ねずみとのききなねこ……………9
- ☆ステイーヴィーのこいぬ……………10
- ☆◆たかこ……………10
- ☆◆ハスの花の精リアン……………10
- 物語 ○
- 赤ちゃんおばけ ベロンカ……………11
- おとうさんの手……………11
- おまじないのがみ……………11
- がっこうかっぱの
イケノオイ……………12
- 木いちごの王さま……………12

- フィーフィーの
すてきな夏休み……………13
- 森のたいしょうは
はりねずみ……………14

○ 知識の本 ○

- ☆いちばんでんしゃの
しゃしょうさん……………26
- ☆オランウータンに
会いに行く……………26
- ☆きのこ……………26

小学校中学年～

○ 物語 ○

- ヴィンニとひみつの友だち……………14
- うさぎの庭……………15
- おとなりさんは魔女……………15
- カメレオンのレオン……………16
- ペテフレット荘のプルック……………16

○ よみつがれてきた物語 ○

- 子どもに語る
イギリスの昔話……………24

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

- アラスカ無人島だより……………24
- ぼくらは闘牛小学生!……………24

○ 知識の本 ○

- アフガニスタンの少女
マジヤミン……………27

小学校高学年～

○ 物語 ○

- アーベルチェの冒険……………16
- 犬どろぼう完全計画……………17
- おじいちゃんが、
わすれても……………17
- 帰命寺横丁の夏……………17
- くろて団は名探偵……………18

チビ虫マービンは
 天才画家！……18
 チポリーノの冒険……18
 土曜日はお楽しみ……19
 バンビ……19
 パンプキン！……19
 ピッグル・ウィッグルおばさん
 の農場……20
 ベストフレンズ
 いつまでも！……20
 盆まねき……20
 ミンティたちの
 森のかくれ家……21

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

ある子どもの詩の庭で……25
 折り紙でたくさんの笑顔を……25
 私は海人(うみんちゅ)写真家
 古谷千佳子……25

○ 知識の本 ○

カモのきょうだい
 クリとゴマ……27

中学生～

○ 物語 ○

ウィッシュ……21
 羽州ものがたり……21
 クロティの秘密の日記……22
 最果てのサーガ……22
 遠い親せき……23
 バタシー城の悪者たち……23
 ふあいと！ 卓球部……23

○ 知識の本 ○

戦争を取材する……27

子どもの本棚委員

委員長

利用サービス担当課長
 高橋 俊郎

委員

課長代理 小前 恭則
 担当係長 赤堀 祐子

相宗 大督
 井上 聡
 上嶋 優子
 川村 望
 鈴木 敬子
 田島 裕子
 土岐 真弓
 濱岡 愛
 原 裕子
 森家さち子

大阪市の図書館案内

子どもの本に関するご相談は、各図書館へどうぞ。

中央図書館	〒550-0014	西区北堀江 4-3-2	
		貸出・返却	TEL06-6539-3301
		調査・相談	TEL06-6539-3302
		予約本についてのお問い合わせ	TEL06-6539-3303
		インフォメーション	TEL06-6539-3300
		音声応答サービス	TEL06-6531-6911
北図書館	〒531-0074	北区本庄東 3-8-2	TEL06-6375-0410
都島図書館	〒534-0027	都島区中野町 2-16-25	TEL06-6354-3229
福島図書館	〒553-0006	福島区吉野 3-17-23	TEL06-6468-2336
此花図書館	〒554-0014	此花区四貫島 1-1-18	TEL06-6463-3463
島之内図書館	〒542-0082	中央区島之内 2-12-31	TEL06-6211-3645
港図書館	〒552-0007	港区弁天 2-1-5	TEL06-6576-2346
大正図書館	〒551-0003	大正区千島 2-6-15	TEL06-6552-1116
天王寺図書館	〒543-0037	天王寺区上之宮町 4-47	TEL06-6771-2840
浪速図書館	〒556-0015	浪速区敷津西 1-5-23	TEL06-6632-4946
西淀川図書館	〒555-0012	西淀川区御幣島 1-2-10	TEL06-6474-7900
淀川図書館	〒532-0025	淀川区新北野 1-10-14	TEL06-6305-2346
東淀川図書館	〒533-0023	東淀川区東淡路 1-4-53	TEL06-6323-5476
東成図書館	〒537-0014	東成区大今里西 3-2-17	TEL06-6972-0727
生野図書館	〒544-0021	生野区勝山南 4-7-11	TEL06-6717-2381
旭図書館	〒535-0003	旭区中宮 1-11-14	TEL06-6955-0307
城東図書館	〒536-0005	城東区中央 3-5-11	TEL06-6931-6466
鶴見図書館	〒538-0052	鶴見区横堤 5-3-15	TEL06-6913-0772
阿倍野図書館	〒545-0052	阿倍野区阿倍野筋 4-19-118	TEL06-6656-1009
住之江図書館	〒559-0015	住之江区南加賀屋 3-1-20	TEL06-6683-2788
住吉図書館	〒558-0041	住吉区南住吉 3-15-57	TEL06-6606-4946
東住吉図書館	〒546-0032	東住吉区東田辺 2-11-28	TEL06-6699-7000
平野図書館	〒547-0043	平野区平野東 1-8-2	TEL06-6793-0881
西成図書館	〒557-0041	西成区岸里 1-1-50	TEL06-6659-2346

平成 24 年 3 月 20 日発行

こどものほんだな 2012 —50 周年記念号—

編集兼発行者 大阪市立中央図書館 利用サービス担当
発行所 大阪市立中央図書館
〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2
TEL 06-6539-3301

大阪市立図書館ホームページ
<http://www.oml.city.osaka.jp>